

METTS NEWSLETTER

教職課程センター・地域学校教育センター

特集 「大学と地域連携の未来」シンポジウム開催

アフターコロナを見据えた大学教育と地域連携 ～地域連携の現状を踏まえた ICT の可能性～

2月4日（土）、今回で7回目となる、2023 明海大学「大学と地域連携の未来」シンポジウムが、対面とオンラインのハイブリッド形式で開催され、来学者を含め約130人が参加しました。開会式では、本学の学生である及川龍之介さんと橋本ありささんが総合司会を務め、安井利一学長、足立区教育委員会大山日出夫教育長、浦安市教育委員会鈴木忠吉教育長からご挨拶いただきました。

当日プログラム

- 12:30 **開会式**
- 12:40-13:40 **基調講演**
講師：合田 哲雄氏（文化庁次長）
演題：「DX時代の授業づくりについて考える」
- 13:50-15:20 **学生発表**
- | | |
|--------|------------------|
| グループ A | 大学生による日本語指導支援 |
| グループ B | 留学生等による児童・生徒との交流 |
| グループ C | 大学生による学習支援 |
- 15:30-16:30 **パネルディスカッション**
テーマ：「アフターコロナを見据えた地域連携～地域連携の現状を踏まえた ICT の可能性～」
- 16:40 **閉会式**

基調講演では、文化庁次長の合田哲雄氏から GIGA スクール構想で多様化する子どもたちの学びの現状や次期を見据えた学びの転換について、大変示唆に富むお話が伺えました。

地域連携事業についての学生発表では、都立高校や足立区、浦安市などで行われている日本語指導支援や学習支援、本学留学生との交流会などが紹介されました。

パネルディスカッションには、足立区教育委員会指導主事佐藤学氏、東京都立田柄高等学校山崎聡子氏、本学学生の呉義偉さんと児島晴香さんが参加し、ICT を活用した今後の地域連携について議論が行われました。

右：オンラインによる
基調講演（合田氏）



学生たちが、司会や発表者、パネリストの役割をしっかりと果たし、今年も有意義なシンポジウムを開催することができました。



総合司会の及川さん、橋本さん



グループ B の学生発表



パネルディスカッションの様子

＜参加者アンケートから＞

【基調講演】 これからの教育の在り方がわかりやすく解説されていて勉強になった。（教員）教職を学ぶ者として今後の参考になる内容だった。（学生）現状を振り返りつつ今後の展開を考えることができた。（教員）

【学生発表】 一人ひとりの積極的な姿勢が大変頼もしかった。（教員）学生が様々な人と関わり幅広く行動していることを知るよい機会になった。（教育委員会）

【パネルディスカッション】 それぞれの立場で具体的かつ示唆に富んだ話を聞くことができた。（教育委員会）ICT時代に懸念されることにあらためて気付き自分でどうしていくべきか考えるきっかけとなった。（学生）

教員採用試験 合格体験発表会を開催

1月30日(月)、令和5年度新規教員採用選考で現役合格を果たした7人の4年生から体験を聞く「合格体験発表会」が開催され、教職課程を履修する1年から3年までの24人の学生が参加しました。開会にあたり高野敬三副学長(教職課程センター長)から「後輩の皆さんは『自分たちも教員になるんだ』という気持ちを強くもってほしい」という話がありました。以下、発表者からの話を紹介します。

※()内は合格した自治体・校種・教科

●君塚翔伍さん(千葉県高校英語)

「過去の問題集により出題の傾向をつかみ、対策ビデオは通学や筋トレをしながら1.5倍速で聞いて勉強しました」

●小林悠太さん(千葉県特別支援学校)

「面接試験は心配しなくても大丈夫。METTSの先生方がこれでもか、というくらい練習をしてくれます」

●佐藤向日葵さん(千葉県高校英語)

勉強に用いたテキストを紹介、「3月に本格的に勉強を始めたけど、苦手だと思う人は早めに取り組むといいと思う」

●関野玲佳さん(東京都中高英語)

「暗記が必要なものは、自分で録音したものを登下校中に聞いて覚えました」

●橋本ありささん(東京都中高英語)

「教育実習がとても楽しくて、実習を終了してからの1か月猛勉強して合格することができました」

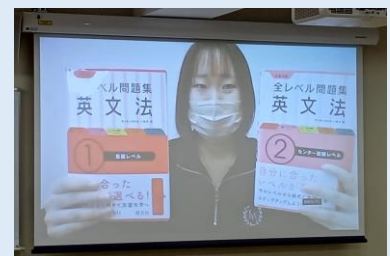
●鈴木歩さん(東京都中高英語)

「夏休みには毎日大学に来て、面接練習に臨んだ」「英語はアメリカ英語以外にも慣れておく必要があります」

●武藤美優さん(群馬県中学英語)

「就活と教採のどちらにするか迷っていたが、教育実習で教員になりたい気持ちが高まった」「自治体で出題の傾向が異なるので、できるだけ早く自分が受ける自治体を決めた方がよい」「勉強して分からないところをまとめたノートが後で役立った」

質疑応答では、「プレッシャーをどのように克服したか」など、先輩たちから学ぼうとする参加者の意欲的な様子が見られました。最後に、山本聖志教授から「受験学年の前倒し(東京都)」など制度改正について説明があった後、まとめとして石鍋浩教授から「今日参加した皆さんは『ぜひ先生になろう』という気持ちをもってほしい」とのエールが送られました。



ウーロンゴン大学研修参加者 壮行会



2月18日(土)から3月5日(金)まで、オーストラリアのウーロンゴン大学で実施される海外研修に参加する学生12人を対象とする壮行昼食会が2月7日(火)、ニューマリーズで行われました。高野敬三副学長の挨拶に引き続き、学生代表挨拶

では、日本語学科4年田中愛唯さんから「安全に気を付けて素晴らしい研修になるよう沢山学べます」と決意表明がありました。参加者一人ひとりの挨拶後、METTSの先生方からは学生に向けて激励の言葉が贈られました。

アゴラ活用状況(人)	
1月	741
2018年度からのべ数	59,098